

痙縮に対するボツリヌス治療と 装具療法の基礎と実践

概要

A型ボツリヌス毒素製剤BOTOX®が痙縮に対して保険適応となり5年が経過しました。痙縮に対するボツリヌス治療が可能な病院も増えていますが、治療の選択肢の1つとして十分理解されていない部分がまだまだあります。

特に対象となる痙縮を有した生活期、慢性期の脳卒中患者や脊髄損傷患者のリハビリテーションは介護保険でなされる事が多く医療保険での介入となるボツリヌス治療はリハビリテーションと一体的になされているとはまだまだ言いがたいのが現状です。

この講義では基本的な痙縮の機序を理解し、BOTOX®の薬理作用からボツリヌス治療の対象と方略、効果と限界などを理解する事を目標とし、リハビリテーションに必要な装具療法に関しても深く学んでいきます。最終的には医療保険でのBOTOX®施注と介護保険でのリハビリテーションが一体的に提供されるための職種間連携についても理解し、実践的なボツリヌス治療に関して学びます。

【講師】 勝谷 将史先生（西宮協立リハビリテーション病院医師）

【日時】 2016年3月13日（日）10：00～16：00（9：30受付）

【受講料】 4000円 当日現金にて徴収

【申し込み方法】 HPにて受付

【HP】 <http://jissen-riha.com>

【問い合わせ】 jissen-riha2@ab.auone-net.jp

【会場】 ミナト医科学株式会社 4階大会場
（〒532-0025 大阪市淀川区新北野3-13-11）

【交通のご案内】 JR塚本駅から徒歩約5分
阪急十三駅から徒歩15分

※近隣に駐車場が少ないので公共交通機関をご利用下さい

